

令和4年（2022年）度胆振管内観光入込客数の状況について

令和5年（2023年）8月
北海道胆振総合振興局

【概要】

令和4年（2022年）度の観光入込客数は、14,175.6千人で、前年度（9,479.5千人）と比べて4,696.1千人の増加（前年度比149.5%）となりましたが、コロナ禍前の令和元年（2019年）度（16,179.7千人）との比較では2,004.1千人の減少（令和元年(2019年)度比87.6%）となっています。

令和4年（2022年）度は、道の旅行需要喚起策である「どうみん割」と全国旅行支援事業の「HOKKAIDO LOVE！割」、市町独自の旅行支援事業の実施、各地のイベントや各施設の営業が再開したこと等により、観光入込客数が増加したものと考えられます。

（道外・道内別）

道外・道内別では、道外観光客は3,632.4千人（構成比25.6%）で、前年度（2,031.5千人）から1,600.9千人の増加（前年度比178.8%）、令和元年（2019年）度（5,626.9千人）との比較では1,994.5千人の減少（令和元年(2019年)度比64.6%）となっています。

道内観光客は10,543.2千人（構成比74.4%）で、前年度（7,448.0千人）から3,095.2千人の増加（前年度比141.6%）、令和元年（2019年）度（10,522.8千人）との比較では9.6千人の減少（令和元年(2019年)度比99.9%）となり、ほぼ令和元年（2019年）度水準に達している状況となっています。

【資料1】

（日帰り・宿泊別）

日帰り・宿泊別では、日帰り客数は11,907.2千人（構成比84.0%）で、前年度（8,201.7千人）から3,705.5千人の増加（前年度比145.2%）、令和元年（2019年）度（13,517.9千人）との比較では1,610.7千人の減少（令和元年(2019年)度比88.1%）となっています。

宿泊客数は、2,268.4千人（構成比16.0%）で、前年度（1,277.8千人）から990.6千人の増加（前年度比177.5%）、令和元年（2019年）度（2,661.8千人）との比較では393.4千人の減少（令和元年(2019年)度比85.2%）となりました。

宿泊客延べ数は、2,549.7千人泊で、前年度（1,440.6千人）から1,109.1千人泊の増加（前年度比177.0%）となっており、令和元年（2019年）度（2,888.0千人）との比較では338.3千人の減少（令和元年(2019年)度比88.3%）となっています。【資料1】

【資料1】令和4年（2022年）度胆振管内観光入込客数内訳

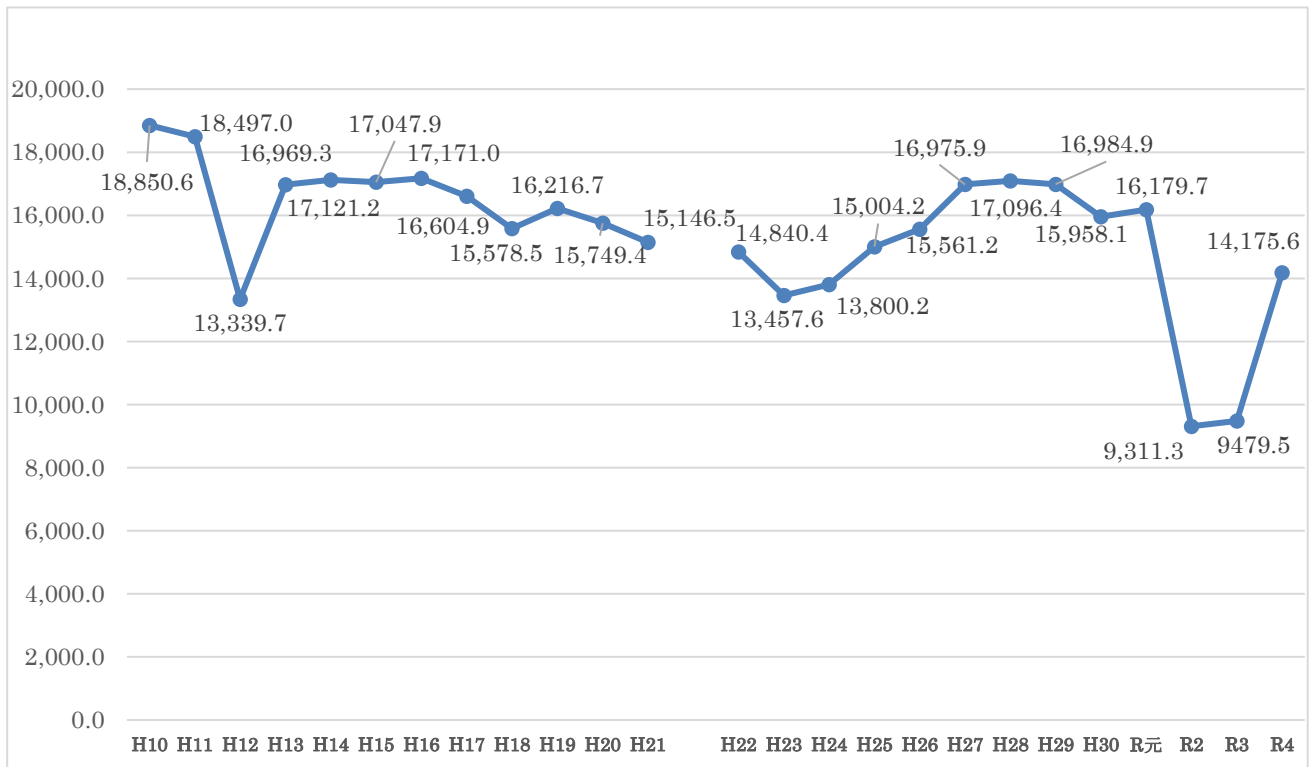
（単位：千人、千人泊）

区分		令和4年 (2022年)度 観光入込客数		前年度比	前年度から の増減数	令和元年 (2019年)度 観光入込客数	令和元年度 (2019年度)比
			構成比				
道内・ 道外別	道外客	3,632.4	25.6%	178.8%	1,600.9	5,626.9	64.6%
	道内客	10,543.2	74.4%	141.6%	3,095.2	10,522.8	99.9%
日帰り・ 宿泊別	日帰り客	11,907.2	84.0%	145.2%	3,705.5	13,517.9	88.1%
	宿泊客	2,268.4	16.0%	177.5%	990.6	2,661.8	85.2%
入込総数（千人）		14,175.6	100.0%	149.5%	4,696.1	16,179.7	87.6%
宿泊客延べ数 （千人泊）		2,549.7	—	177.0%	1,109.1	2,888.0	88.3%

なお、参考として、平成10年（1998年）度からの観光入込客数の推移【参考資料1】、令和元年（2019年）度からの4力年における観光入込客数の月別の推移【参考資料2】を掲載しています。

【参考資料1】胆振管内観光入込客数の推移（H10年度～）

（単位：千人）



【参考資料2】胆振管内観光入込客数の月別推移（R元年度～R4年度）

（単位：千人）

